

企業・サイト概要

- 提案企業: トップ工業株式会社
- 提案企業所在地: 新潟県三条市
- サイト: カンボジア国プノンペンを中心とした全国の技術系大学及び職業訓練校
- 相手国実施機関: 労働・職業訓練省(MOLVT)、教育・青年・スポーツ省(MOEYS)
- 事業実施期間: 2013年8月～2014年9月

●●● カンボジア国の開発課題 ●●●

産業人材の育成

- 電気や機械分野の企業進出増加に伴い、産業人材の確保・育成ニーズが高まっているが、労働集約的な縫製業や製靴業への偏りが大きく、企業の要求する高い水準を満たす実践的な技術をもつ人材が不足している。

職業訓練機関等の能力向上

- 技術系の産業人材を育成する職業訓練機関等においては、実践を伴わない座学が中心であり、各国のドナーからの支援で施設の整備等は図られているものの、機材の保守が不十分であったり使用方法を理解している教員が不足しているため十分に活用されておらず、教育訓練内容の改善や教員の能力向上が喫緊の課題となっている。

合致

●●● 提案企業の技術・製品 ●●●

燕三条ブランド作業工具

- 江戸時代に遡る燕三条地域のものづくりの伝統と、最先端の技術・ノウハウが詰まった汎用性の高い高品質の作業工具セットを用いて研修を行うことで、工具の品質が最終製品の品質に影響を与えることを理解し、企業からの要求水準を満たす技術の習得が可能となる。

燕三条地域で蓄積された知見・ノウハウ(産官学連携)

- 海外からの技術研修生受け入れの実績のある、新潟県の教育・研修機関の知見を活用し、工具の製造プロセスや日本の品質管理、工具のメンテナンス方法など、対象校に合わせた研修を教員に対しても実施することで、持続的な産業人材育成に貢献する。

提案企業の準備状況

- 平成24年度政府開発援助海外経済協力事業委託費による「案件化調査」において、工具に関する産業人材育成への高い要望が確認できた。
- 燕三条ブランド工具の良さを実体験してもらい、幅広い層へ燕三条工具をPRする実証事業を通して、ビジネスとしての事業性を検証するために更なる働きかけが必要。

民間提案型普及・実証事業の内容 (JICA事業)

- プノンペンを中心とする全国の職業訓練校とカンボジア工科大学及びカンボジア日本人材開発センター(CJCC)の計10校程度においてトップ工業及び燕三条地域各社が生産した工具を提供し、生徒及び教員へ品質管理やメンテナンス方法、工具の製造プロセス等について工具研修を実施する。
- 各教育・研修機関の教員等へは現地で継続した研修が実施できるように、専門的な講義もあわせて実施する。

ビジネス展開

- 本事業で獲得した認知度をもとに、SEZ(経済特区)に進出する日系企業や外資系建設会社への事業展開。
- カンボジア国内における代理店開拓を行い、販売体制構築を目指す。

